

# 平成24年度 射水市公募提案型及び地域提案型 市民協働事業審査会



日 時：平成24年5月27日（日） 午後1時30分

場 所：射水市役所小杉庁舎3階303・304会議室

射水市市長政策室  
まちづくり課

# 次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 審査委員の紹介
- 4 審査会の進行説明
- 5 提案団体によるプレゼンテーション（公募提案型市民協働事業）
- 6 休憩
- 7 提案団体によるプレゼンテーション（地域提案型市民協働事業）
- 8 事務連絡
- 9 閉会

# 審査会の進行等について

## 1 進行表

13:00	受付開始
13:30~13:40	審査会開会(303・304会議室)
	挨拶
	審査委員の紹介
	審査会の進行説明
13:40~15:20	<b>公募提案型市民協働事業</b> 提案団体によるプレゼンテーション(6団体)
	1 元町親和会 2 特定非営利活動法人 環・日本海 3 棚田自治会 稲垣示翁 没110年記念事業実行委委員会 4 特定非営利活動法人 水辺のまち新湊 5 射水市自転車共同利用プロジェクト 6 特定非営利活動法人 いみず市民メディア
15:20~15:30	休憩
15:30~16:20	<b>地域提案型市民協働事業</b> 提案団体によるプレゼンテーション(2団体)
	7 三ヶ地域振興会 8 三ヶ地域振興会 9 黒河地域振興会
16:20	事務連絡
16:25	審査会閉会

## 2 発表方法

- ・発表時間は、1団体7分間とします。
- ・発表開始後6分経過時にベル1回、7分経過時に2回鳴らします。
- ・発表後の審査委員からの質疑応答は8分間です。
- ・前の提案団体の質疑応答が始まりましたら、次の提案団体は速やかに発表の準備に取りかかってください。

## 3 審査基準

### (1) 公募提案型市民協働事業

- ・地域課題や市民ニーズの把握、公益性
- ・団体の特性と役割分担の妥当性
- ・期待できる事業効果
- ・事業の実現性
- ・提案団体の実施能力
- ・提案団体の自立性、事業の継続性

### (2) 地域提案型市民協働事業

- ・地域課題や市民ニーズの把握、地域特性
- ・役割分担の妥当性
- ・期待できる事業効果
- ・事業の実現性

## 4 事業決定

事業決定については、審査会の報告を踏まえ、市長が決定します。

## 5 発表順

NO	区分	団体名	事業名	ページ
1	公募	元町親和会	「健康麻雀」で、友達作りと 生きがい作り	5
2	公募	特定非営利活動法人 環・日本海	異文化共生地域交流事業	7
3	公募	棚田自治会 稲垣示翁 没110年記念事業実行委員会	棚田自治会 稲垣示翁 没110年記念事業	9
4	公募	特定非営利活動法人 水辺のまち新湊	富山新港遊覧及び堀岡地区 散策の絵地図作製	12
5	公募	射水市自転車共同利用 プロジェクト	射水市自転車市民共同利用 プロジェクト	14
6	公募	特定非営利活動法人 いみず市民メディア	コミュニティ放送を使った外国 人向け防災情報発信事業	16
7	地域	三ヶ地域振興会	こども健全育成支援事業	18
8	地域	三ヶ地域振興会	郷土の歴史、文化の伝承事業	20
9	地域	黒河地域振興会	はだしで遊ぶ芝生広場(金甞)	22

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 元町親和会

<p>事業の名称</p>	<p>『健康麻雀』で、友達作りと生きがい作り</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ） 一般的に、ギャンブル性の強いイメージのある麻雀を、 お金を賭けない お酒を飲まない たばこを吸わない を基本ルールに、『健康麻雀』という健全さを確立し、地域のコミュニケーションツールとして、友達作りと生きがい作りを展開します。</p> <p>・天候が悪くても、寒い冬でも、友達と仲良く笑いながらゲームを楽しみ、頭の体操と指先の運動ができます。 ・初心者への講座と講師育成講座を開催して、射水市全域での展開を目指して、地域住民の絆・ネットワーク作りをします。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>（どこでだれに等） 射水市内の住民 麻雀が好きな方、麻雀に興味を持っている方なら、誰でも参加できます。</p>
	<p>手法</p>	<p>（いつ、どのように、何を等） 地域の行政施設を利用します。地区集会所や公民館など</p> <p>地域リーダー育成講座を4回開催 （日本プロ麻雀連盟の北陸支部より講師派遣） 講師育成講座を4回開催 （初心者講座の内容を確立します）</p> <p>女性と若者の参加を募るために、 女流プロ2名を迎えて、イベントを開催します。 （トークショーと競技麻雀大会を開催）</p> <p>初心者講座を8回開催 （地域リーダーが講師となり、指導します）</p>
	<p>目標</p>	<p>（目標とする結果、数値基準等） 将来は、行政施設に限らず、射水市内のどこでも出向き、講座を開催して、友達作りと生きがい作りを展開します。</p> <p>2回/1ヶ月の定期講座開催をベースに、随時出前講座を展開できる体制作り、NPO法人設立を目指します。文化サークルとしての位置付けを目指します。</p>

<p>協働事業として取り組むことの必要性</p>	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)  ギャンブル性が強いイメージのある麻雀を、射水市の職員の方と協働事業として取り組むことにより、健康麻雀の確立とイメージアップがはかれ、地域のコミュニケーションツールとなれば、若者、女性の愛好者も増加して、高齢者だけに限定しないネットワーク作りができる。</p> <p>楽しい健康麻雀が生涯学習の一つとして、文化サークルとしての位置付けを実現できると確信します。</p> <p>すでに横浜市や新潟市では、NPO 法人となって地域の認知と活動が定着しています。県民カレッジのメニューとしても定着しています。射水市での展開の事例として参考になります。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初心者講座の常設化</li> <li>・地域住民のマンパワーの創出(地域リーダーの育成)</li> <li>・参加して楽しい健康麻雀講座の開催</li> <li>・ポイント競技麻雀大会、リーグ戦の確立</li> <li>・積極的な出前講座による指導体制をつくる。</li> </ul>
<p>役割分担</p>	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報</li> <li>・行政施設利用の協力</li> <li>・横浜市や新潟市での事例情報の提供</li> <li>・射水市内の施設や団体への出張講座の案内</li> <li>・いみず CATV や FM いみず 等への交渉</li> </ul>
<p>事業スケジュール</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>地域リーダー育成事業(外部講師)  6月から9月まで、4回開催</p> <p>講師育成事業(クラブ講師)  6月から9月まで、4回開催</p> <p>イベント事業  10月の日曜日に、女流プロ2名を迎えて開催</p> <p>トークショーとポイント競技麻雀大会の開催</p> <p>初心者講座事業(地域リーダー講師)  10月から2月まで、8回開催</p>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の麻雀に対するイメージアップ</li> <li>・友達作りができ、笑顔のある楽しい人の増加</li> <li>・生きがいのある人の増加</li> <li>・楽しく会話しながら、指先と頭の活性化ができる</li> <li>・文化サークルとしての確立</li> <li>・女性愛好者、若者愛好者の参加増加</li> </ul> <p>地域住民のネットワーク 絆・つながり 射水市への愛着  自分たちのことは、自分たちから 生きがいと誇り  地域が活性化 自主防災などへの参加につながる</p>
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>この事業は、単年度で終了するものではなく、継続的に仲間を増やして、射水市での愛好者によるポイント競技大会を開催したりもできるくらいにしていきたいと考えています。</p> <p>商品には、射水市内の施設利用券や特産品を利用して、友達作りと生きがいづくり、そして地域の活性化と愛着、地域住民誰もが健康でいきいきと輝くまちづくりを目指します。</p>

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 NPO<sup>わ</sup>環・日本海

<p>事業の名称</p>	<p>異文化共生地域交流事業</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)                  1. 海辺の地域交流を広域市民で討論会を継続し、自らが参加し実践した中から、次世代への提案を作成めざす。                  2. 世界情勢の中で日本海側の一地域(射水市)が発展するためにグローバル(グローバル+ローカル)な視点で射水市の生活文化を他の地域(国外と太平洋側の地域)へ紹介する。                  3. 類似した地方都市と交流し、射水市の魅力アピールし住民の拡大をめざす。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(どこで、だれに等)                  ・射水市民～北陸海浜地域の住民・興味関心ある方                  ・市職員を含み、<b>在住外国人も含める</b>                  ・学生～高齢者(射水市の歴史に貢献した一般市民)</p>
	<p>手法</p>	<p>(いつ、どのように、何を等)                  1. 講演会 FORUM(基調講と演意見討論会)開催4回                      8月5日:海王丸交流センター会議室予定(射水市)                      10月    :日本午前中文化交流センター(射水市)                      12月    :とやまスローライフフィールド生活館(富山市)                      1～2月  :ラポール研修室(射水市)又は Cic 地域交流センター(富山市)                  2. 横浜市&amp;藤沢市のNPOに提案し、必ずどちらか?又は双方と交流企画2回(日本海側と太平洋側の海辺都市交換交流)。場所は教育施設 OR 福祉施設で講演・ライブ実施。(内容は地方民話～アジア民族の逸話～地方音楽)                  3. ワークショップ形式を入れ、射水市からは海辺の祭り音楽と歴史を紹介する。(上記の2に工夫)                      地方の民話・民謡を比較し取り入れともに学ぶ実践                  4. 講演講師の予定 稲村修:魚津水族館館長(富山市)                                            後藤健一:ものづくり生命文明機構事務局長(横浜市)札幌展示図書館長                                            桑原志音:日本海民族音楽研究員(藤沢市)札幌点字図書館長                                            その他、交渉中</p>
	<p>目標</p>	<p>(目的とする結果、数値基準等)                  ・参加目標 各会場の収容席数(学生～高齢者)                  ・海辺の生活文化を新湊・富山湾～アジアまで理解できるよう市民と意見交流する。                  ・太平洋側の地方海浜市と交流し魅力を交換紹介する。                      生活文化(歴史～特産品)の紹介をめざす。</p>

協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世界の情勢が刻々変化する今日は、「おらが村」発想を超えて、広く地域のアピールが必要な時代です。地方の NPO だけでなく行政の支援を仰ぎ、一般市民に(特に 21 世紀の若者に高齢者の知恵をパトンすべく)射水市の魅力拡大をはかるには市民協働が大切である。</li> <li>2. 会場の紹介、施設の紹介、ワークショップ支援、射水市はじめ他市町村への広報の支援をお願いしたい。</li> </ol>																
役割分担	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実行委員の拡大</li> <li>2. 事業の企画～運営～実施～報告書の作成</li> <li>3. 次年度へのバトン</li> </ol> <p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会場紹介の支援協力=予算ないで可能な限り大きな会場予約支援</li> <li>2. 広報活動</li> <li>3. イベントに参加支援</li> </ol>																
事業スケジュール (別紙添付でも可)	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <table border="1" data-bbox="491 813 1374 1346"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>実行委員会を毎週末に開催：企画内容の検討 チラシ原案作成</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>チラシ印刷～配布活動、ラジオ CM 藤沢市(横浜市)と連絡協議会を開催 他の NPO と交流を深める</td> </tr> <tr> <td>8～9月</td> <td>射水市長の基調講演をもとに若者～市民が 海辺の地域活性 FORUM 第1回開催</td> </tr> <tr> <td>10～11月</td> <td>海辺の地域活性 FORUM 第2回開催(射水市) 藤沢市(横浜市)で、交流企画第1回「講演ライブ」開催</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>海辺の地域活性 FORUM 第3回開催 とやまスローライフフィールド生活館(富山市)</td> </tr> <tr> <td>1～2月</td> <td>藤沢市(横浜市)で、交流企画第2回「講演ライブ」開催 成果を射水市で再生開催</td> </tr> <tr> <td>1～2月</td> <td>報告書の作成</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	6月	実行委員会を毎週末に開催：企画内容の検討 チラシ原案作成	7月	チラシ印刷～配布活動、ラジオ CM 藤沢市(横浜市)と連絡協議会を開催 他の NPO と交流を深める	8～9月	射水市長の基調講演をもとに若者～市民が 海辺の地域活性 FORUM 第1回開催	10～11月	海辺の地域活性 FORUM 第2回開催(射水市) 藤沢市(横浜市)で、交流企画第1回「講演ライブ」開催	12月	海辺の地域活性 FORUM 第3回開催 とやまスローライフフィールド生活館(富山市)	1～2月	藤沢市(横浜市)で、交流企画第2回「講演ライブ」開催 成果を射水市で再生開催	1～2月	報告書の作成
時期	内容																
6月	実行委員会を毎週末に開催：企画内容の検討 チラシ原案作成																
7月	チラシ印刷～配布活動、ラジオ CM 藤沢市(横浜市)と連絡協議会を開催 他の NPO と交流を深める																
8～9月	射水市長の基調講演をもとに若者～市民が 海辺の地域活性 FORUM 第1回開催																
10～11月	海辺の地域活性 FORUM 第2回開催(射水市) 藤沢市(横浜市)で、交流企画第1回「講演ライブ」開催																
12月	海辺の地域活性 FORUM 第3回開催 とやまスローライフフィールド生活館(富山市)																
1～2月	藤沢市(横浜市)で、交流企画第2回「講演ライブ」開催 成果を射水市で再生開催																
1～2月	報告書の作成																
事業効果	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. NPO 活動が市民へ理解浸透</li> <li>2. 行政と市民が協力し、地方や近隣諸国の異文化共生の大切さを学ぶ</li> <li>3. 行政と市民が協力して 21 世紀世代へ故郷を愛する心を深めることができる。</li> </ol>																
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 活動を継続する委員会の拡大</li> <li>2. 異文化共生(生活文化が日本国内の海浜都市と近隣諸国：韓国、中国、台湾、アイヌ、ロシア、モンゴルと共通点があること)を学んだ内容の継続展開を企画</li> <li>3. 故郷を市民協働で愛する心を深めるために教育機関(幼児～小学校^中学校～高校～大学)や福祉施設への活動を増やす。</li> </ol>																

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 棚田自治会稲垣示翁没110年記念事業実行委員会

<p>事業の名称</p>	<p>棚田自治会 稲垣示翁 没110年記念事業</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ）</p> <p>『稲垣示は、“人間はみな自由で平等であり、せいじにさんかできるようにしたい”という自由民権の考えを広めました。かれのえんげつは、人々の心を打ち、やがて、少しずつつじつげんされてきました。ふつつせんきよがおこなわれるもとをきずきました』（小学校副教材より引用）</p> <p>今年、稲垣示翁 没110年の節目の年となっています。示翁は、射水市棚田で生を受け、明治時代に板垣退助らと自由民権運動家として活躍してきた当地区が誇る人物である。その偉業をたたえ、没110年にあたる今年、稲垣示翁碑の環境整備作業とあわせ、示翁を讃える記念事業を実施する。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>（どこで、だれに等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・射水市住民を対象とする。</li> <li>・既に小学生には学校教育の補助教材に取り上げられているが、射水市民、特に棚田自治会住民に「棚田が輩出した歴史的人物、稲垣示翁」の功績を伝え、地域住民の意識高揚と市民文化の啓発を図る。</li> </ul>
	<p>手法</p>	<p>（いつ、どのように、何を等）</p> <p>平成24年10月18日は当地区の秋祭りである。例年、その秋祭りに向けて、住民総出により神社、示翁の草取り作業をおこない、1年の無事と豊作に感謝して祭りをおこなってきた。今年、示翁没110年、示翁碑建立88年と節目に当たる年であり、稲垣示翁の功績を知る市民の見学者も増えると予想され、まず、多くの市民がいつ見学にとられても「事故が起きないように」碑周辺の環境整備を実施する（見学者に功績をたたえる説明看板の新設含む）。合わせて10月の良き日には稲垣示翁 没110年と建立後「米寿」を迎えた稲垣示翁碑の記念式典と功績を讃える記念講演会などを企画する。また、明治時代での「自由民権運動」活動が今日社会に果たした役割について研究調査し、その資料集などの発刊を企画する。</p>
	<p>目標</p>	<p>（目的とする結果、数値基準等）</p> <p>この記念事業を通じて、射水市の社会教育教材として活用してもらい、改めて稲垣示翁が残した功績を射水市民に広め、伝統と歴史ある射水市文化の発展に寄与する。また、元気な射水市政構築の材料となり当棚田自治会の次世代の若者に影響を与える事業としたい。</p>



<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <p>稲垣示翁が板垣退助など日本の明治維新に活躍した歴史的人物と一緒に活躍し、今日の民主社会建設に貢献した史実を、正しく子どもや青年たちに伝え、改めて将来の射水市、日本建設のおおきな「夢」も持ってもらうきっかけづくりとなる事業である。</p> <p>少なくとも棚田自治会にあっては、他所から嫁いで来て、稲垣示翁の史実を知らない住民もないではない。1人でも多くの住民市民が、今回の事業を通して、正確な「稲垣示翁」の功績を学び、家庭で、地域で、子どもから・高齢者にいたるまで、全住民あげて棚田自治会や射水市の将来を語り「団結力のある元気な町づくり」に貢献する事業になると確信している。</p>
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>これまでも、稲垣示翁碑の存続のため環境整備活動を継続してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎年数回の清掃奉仕</li> <li>春秋のお祭りの際の獅子舞の奉納活動</li> <li>児童クラブや関係団体での社会教育活動への協賛</li> </ul> <p>等の活動である。</p> <p>記念すべく今年度の事業計画以降、これまでの事業継続をもちろん実施していくこととしているが、新たに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>稲垣示翁の業績と地域貢献などの資料を集め業績集を社会教育活動に繋げていく。</li> <li>そのような示翁の業績を各種マスコミなどを通じて地域社会に伝え、町おこし事業につなげていく。</li> <li>射水市民、棚田自治会員に対し、今日の地域社会を考え、新しい射水市これからの棚田自治会の将来を構築していく『行動力』、『提案力』を『団結力』を育てていく材料とする。</li> <li>稲垣示翁碑の「見学者」に対し、作成パンフレットなどを利用し、より正確な情報提供と力強いまちづくり協力者を増やしていく。また、各地区にある図書館や地区センターなどにパンフレットを置かせてもらい、稲垣示翁碑の「見学者」をより増やしていきたい。</li> <li>合わせて、稲垣示翁碑の環境整備維持管理には、今まで以上に努力し、多くの市民に示翁碑を見てもらい、親しまれる史蹟としていきたい。</li> </ul>

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 NPO 法人 水辺のまち新湊

<p>事業の名称</p>	<p>富山新港遊覧及び堀岡地区散策の絵地図作製</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>新湊大橋の完成に伴い、橋の上から新港やその周辺を一望するために当地を訪れる人々や、観光船に乗って新港を一周して近代港湾の姿を楽しむ観光客も増加すると思われる。また、西側地区（越の潟や海王町）と東側地区（堀岡や海竜町）の人々にとっては、大橋の完成で、周囲の眺望は大きく変化する。そのため、この地の住民、事業所社員はじめ市民・県民、そして当地訪問の観光客が、この地区の景観を楽しみながら学べる情報を満載したユニークな絵地図を作製することで、日本海側総合拠点港としての港の存在意義と射水市のイメージアップを図る。</p>	
<p>事業内容</p>	<p>対象</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富山新港・内川周辺の住民はじめ市民・県民、新湊大橋の利用者</li> <li>・ 新港背後地の事業所及び関係者</li> <li>・ 海王丸パークや元気の森公園を利用する人々</li> <li>・ 富山新港、新湊大橋そして新湊内川を訪れる観光客</li> </ul>
<p>手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富山新港を新湊大橋から一望したとき、そこから見える港と海竜町の主要な近代的施設の状況を地図上に収める。</li> <li>・ 富山新港を船で一周したとき見える港湾諸設備（含む排水機場）と各バース上の貨物、着岸船舶、企業建物群を地図上へ落とす。</li> <li>・ 堀岡地区の旧浜街道沿いの家並み及び旧鍛冶川（せせらぎ水路）沿いの情景と家並みの情報を地図上に落とす。</li> <li>・ B2 版用紙の表側に富山新港の上記情報を白地に黒のペン書きのモダン風に仕上げ、裏側は堀岡地区の情景を入れてセピア色に仕上げる。海竜町の近代施設は吹き出しにしてモダン風の線画とする。</li> <li>・ イラストレーターとともに、上記の場所を訪れ、その特色ある建物・諸設備のデッサンをする。</li> <li>・ 地元居住者からも支援者を求め確認・修正を行う。</li> </ul>	
<p>目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイド塾参加者や観光ボランティア、地元から支援者を求め、富山新港、東部地区についての認識を高め、観光客や、地元企業社員・関係者に情報提供できる体制を充実させる。</li> <li>・ 新港及び周辺地域に対するイメージアップを図り、企業誘致や背後地企業社員の射水市への転入など射水市のまた、東部地区の活性化につなげる。</li> <li>・ 新港は、総合拠点港になったこと、射水市の大きな地域資源であることを市民に伝え、新港周辺への関心を高める。</li> </ul>	

協働事業として取り組むことの必要性	<p>今年秋に、新湊大橋が完成予定である。長年の行政の夢の実現であり、行政としての祝賀行事は検討されているが、港への市民の関心を一層高める必要がある。日本海側の4つのうちを選定された総合的拠点港の意義を再認識し、市民・事業所・行政がそれぞれの立場で、さらなる将来への展望・夢を描くことができるようにしていくことである。そのため、協働事業で「絵地図を作製」し、市民総体で完成を祝うものとし、一方、いわゆる郷土史等学術的なものや官庁的公平・平等な地図とは異なってその絵地図が示す現代の表象から郷土の歴史に遡っていきける魅力を表現したい。</p>
役割分担	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <p>当NPO団体は、様々な経験と専門的能力を持っている多くの市民が自分達の住んでいる地域活性化という一点において協力し合う状況作りを整え、新港の魅力をその歴史とそれを創りあげてきた人々の息吹を伝えられるものに仕上げていくかじ取りをしていくのが当団体の役割になる。</p>
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新湊大橋上から周囲を眺めるチャンスを作っていただくこと</li> <li>・ イラストや説明文作成のために必要な企業訪問や堀岡地区の古民家訪問に際しての役所からの紹介</li> <li>・ 新港を船上から調査する際(数回)における船手配の援助</li> <li>・ 完成した地図についての市民へのお知らせ</li> <li>・ 本事業の市側担当者を一人決めていただきたい。</li> </ul>
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7・8・9月 越の潟・海王町、新港周辺及び堀岡・海竜町の調査実施。</li> <li>・ 10月、調査結果をまとめ、ユニーク絵地図のための荒々の絵地図作成。</li> <li>・ 11月、12月、1月、航空写真や住所地図と照らして、一軒一軒の特徴を現地で確認、デッサンの作業をして、絵地図に落とす内容の精査。</li> <li>・ 2月、港背後地企業や周辺自治会などの意見を聞いての最終調整。</li> <li>・ 3月、絵地図の印刷、発行、配布。</li> </ul>
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民・事業所とその関係者・観光客に対し、その絵地図が発するインパクトにより、近代港湾の富山新港とその背後地についての理解が一層深まり、PR効果が期待できる。</li> <li>・ 海竜町と堀岡地区の詳細な絵地図はその住民にとってあらためて、郷土について考える材料を提供することになり、東部地区の活性化と新港と一体の「みなとまち」づくりに向かって一歩踏み出す契機となる。</li> <li>・ 担当の市職員が当該事業の一連の推移を把握することにより、海辺の地域づくり行政展開のために、貴重な情報提供者になり得る。</li> </ul>
事業展開	<p>当地を訪れる交流人口の増加に役立つように、また、港背後地進出企業と地域イメージが共にアップするよう背後地進出企業での活用を進める。</p> <p>更に、今回の絵地図も好評ならば、引き続き、海老江地区、庄西町、古新町、三日首根等浜街道や内川沿いの現状を表す絵地図も作成し、地区住民が当該地域の将来像を地道に考える素材とし、郷土学習教材として地元の小・中・高で利用なされ、そこに住む若者が愛着を持って郷土づくりの核に育っていく可能性につなげる。</p> <p>このような方向で地域発展につながる事業展開をしていきたい。</p>

## 射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名：射水市自転車共同利用プロジェクト

事業の名称	射水市自転車市民共同利用プロジェクト	
事業の目的	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)</p> <p>小杉駅には毎年多くの自転車が放置されている。そのため本事業では多くの市民に自転車を活用してもらうために、小杉駅を起点(ハブ)にし、不要自転車の入手と整備を行い、ITによる貸出管理をし、小杉駅利用者に自転車を無料で貸し出す。これは、放置自転車の削減、二酸化炭素排出量の削減、資源の有効利用、市民の健康づくりに貢献できる活動である。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(どこで、だれに等)</p> <p>小杉駅利用者、市民(県立大生、放送大学生も含む)</p>
	手法	<p>(いつ、どのように、何を等)</p> <p>一年目 自転車共同利用システムの開発 自転車シールの作成・配布 不要自転車の入手と整備</p> <p>二年目 共同利用システムの社会実験</p> <p>三年目以降 本格実施</p>
	目標	<p>(目的とする結果、数値基準等)</p> <p>1年間に約50台放置されている自転車を有効活用し、放置自転車を削減。また、その自転車を市民に利用できるように整備し、利用促進を図る。二酸化炭素排出量を削減し、健康づくりに役立てる。</p>
協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>本事業をすすめるためには、射水市の担当部署(生活安全課)との連携が必要である。また、県立大生、放送大学生、及び地域住民、近隣の自転車販売店との、産官学の連携が必要である。</p>	

役割分担	(提案団体が果たす役割) 自転車共同利用システムの開発及びその実証実験における自転車とシステムの管理
	(事業実施に伴う市の役割) 小杉駅の駐輪所に貸出自転車専用の場所の指定、及びその告知等。 放置自転車の利用のための調整等。
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール) 一年目 準備期間 自転車共同利用システムの開発 自転車シールの作成・配布 不要自転車の入手と整備 二年目 社会実験 共同利用システムの社会実験 三年目以降 本格実施
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。) 環境意識の向上(資源循環、リユース、温暖化物質削減等)  市民の交通手段、放置自転車(資源)の有効利用に役立つ。 ・簡便で健康的な交通機関の提供 ・健康 ・市民の健康づくり(体を動かすことによる健康促進) ・環境(環境負荷を削減) ・二酸化炭素排出量の削減 ・化石燃料使用量の削減 ・排ガスの削減 ・資源 ・放置自転車の削減 ・資源の有効利用
事業展開	(協働事業終了後の事業展開) ・新たに放置されていく自転車をどのように活用していくかを検討する。 ・5年間は継続し、実施結果しだいで10年単位で継続していく。 ・県立大に関しては、学生及び教員が実践する環境リテラシー教育の一環となる。

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 特定非営利活動法人いみず市民メディア

<p>事業の名称</p>	<p>コミュニティ放送を使った外国人向け防災情報発信事業</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>（解決すべき課題と地域のニーズ）</p> <p>射水市では災害発生時の外国人に対する情報伝達の対策がほとんど手付かずの状態である。射水市は外国人の居住率が住民の約2%で、県内では最も高い。また射水市は、富山県に大地震が発生した場合の想定震度が最大の地域でもあり、津波による甚大な被害発生が予想される。東日本大震災では外国人が「高台」という言葉を理解できずに津波から逃げ遅れるなど、外国人にとって情報不足が深刻であった。</p> <p>当NPOは「射水市災害放送ボランティアの会」を母体として結成された。外国人を対象にした防災情報の発信や、災害発生時に外国人も理解しやすい情報を発信することは重要な使命と考えている。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>（どこで、だれに等）</p> <p>射水市在住の外国人登録者1,831人（平成23年12月末現在）や、その家族など</p>
	<p>手法</p>	<p>（いつ、どのように、何を等）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多言語や「やさしい日本語」を使った外国人向けの防災ラジオ番組を制作し、7月からレギュラーの放送を開始。番組の内容は週変わりで、月～金の毎日3分間放送。</li> <li>2. 防災ラジオ番組をPRするための多言語ステッカーを作って、射水市に住む外国人に配布する。</li> <li>3. 秋に行われる射水市総合防災訓練と連動して、多言語によるラジオ緊急放送の訓練を行う。</li> </ol>
	<p>目標</p>	<p>（目的とする結果、数値基準等）</p> <p>外国人住民を対象にした防災意識の啓発</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地震などに関する防災知識の普及を図ることができる。</li> <li>2. 災害時の情報源としてラジオの有用性を知ってもらう。</li> <li>3. 外国人に災害時の支援の担い手になってもらうことも期待できる。</li> </ol>

協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください)</p> <p>大災害時には長時間にわたる停電が発生し、テレビや携帯電話などが利用できなくなることが想定され、多くの市民は情報ツールを失ってしまう。一方、ラジオが災害に強いメディアであることは周知の事実である。現状では、災害時に行政側から外国人に向けた情報の発信が満足なレベルで行われるとは思えない。日本語が苦手な外国人が利用できるメディアは限られている。外国人に向けた防災情報の発信を、ラジオを使ってNPO法人与行政が協働事業として実施することは、大きな意義があると考えます。</p>
役割分担	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <p>市民や外国人が参加しての防災ラジオ番組制作、および放送。</p>
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>防災情報や資料の提供。国際交流員などの協力。外国人へのPR。</p>
事業スケジュール (別紙添付でも可)	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>平成24年7月 防災ラジオ番組の制作・放送(9ヶ月間) PRステッカー配布 市民や外国人の協力スタッフ募集</p> <p>9月 多言語によるラジオ緊急放送の訓練 (射水市総合防災訓練と連動)</p> <p>10月～3月 「やさしい日本語」研修会開催(2回)</p> <p>3月末 放送終了、報告書作成</p>
事業効果	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や外国人が一緒になって災害情報発信の環境整備に取り組むことで、災害時における「共助」の重要性を学べる。</li> <li>・放送を通じて防災情報を広めることで防災意識を高め、いざというときの減災効果が期待できる。</li> <li>・災害発生時の情報源としてのラジオの有用性を訴えてラジオの普及につなげ、市民の安心安全の確保に貢献できる。</li> </ul>
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語による防災ラジオ番組の放送を継続したい。</li> <li>・災害時に外国人を孤立させないコミュニティ作りを進めたい。</li> </ul>

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 三ヶ地域振興会

<p>事業の名称</p>	<p>こども健全育成事業</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。) 昨年、当三ヶ地域において将来ある中学生が自ら命を絶つと言う痛ましい事故が起きました。今こそ家庭と地域、学校、保育園などがそれぞれの分野で役割を果たし、一体となつて子育てに取組み、安全で安心して暮らせる街づくりを築く。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(どこで、だれを対象にするのか記入ください。) 児童、中学生、保育園児、幼稚園児、を対象とする。</p>
	<p>手法</p>	<p>(いつ、どのように、何をするのか記入ください。) 三ヶセンター、ふれあい館、自然(田、海など)</p>
	<p>目標</p>	<p>(目標とする結果、数値目標等について記入ください。) 三世代交流を通して、子ども達の助け合いの心、自然や物を大切に作る心、感謝の気持ちをもつ心を養い、地域ぐるみで安心安全でいきいきした住み良い町、住みたいまちづくりを推進する。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(地域振興会が果たす役割) 三ヶふれあい館の活用を図り、地域振興会傘下の各種団体の連帯強化を図りながら世代交流を推進する。</p>	
	<p>(事業実施に伴う市の役割) ・事業に対する応分の財政負担 ・職員の参加 ・情報提供などの支援</p>	

<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 竹細工(竹とんぼ、水鉄砲、竹馬など)・・・7月</li> <li>2. ふれあい農園(田植え、稲刈り、芋作り)・・・通年</li> <li>3. クッキー教室・・・9月</li> <li>4. お菓子の家作り・・・2月</li> <li>5. しめ縄、門松作り・・・12月</li> <li>6. 地引網・・・8月</li> <li>7. 寄せ植え教室・・・10月</li> <li>8. 本の読み聞かせ・・・通年</li> <li>9. 花いっぱい運動・・・通年</li> </ol>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児、児童、小学生、中学生、親子のふれあい、地域の絆を確認し合う。</li> <li>・地域の保育園、幼稚園、福祉短大などとの交流を深め、地域ぐるみの活性化を図る。</li> </ul>
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>各事業に積極的に参加をもとめ地域、学校が一体となり世代間交流も図り、こども達の健全育成を図っていく。</p>
<p>事業の継続 (平成25年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を <u>要望する</u> ・ 要望しない</p>
<p>事業の継続 (平成26年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を <u>要望する</u> ・ 要望しない</p>

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 三ヶ地域振興会

<p>事業の名称</p>	<p>郷土の歴史、文化の伝承事業</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。)郷土には、永い歴史と文化がある。先人たちによって延々と築かれてきた地域の遺産、それは祭りであり、風土、風習、史跡などすべてを継承して、我々が今日いきているのである。地域振興会としては、専門部会を設けて三ヶ地域にある史跡、石碑などの調査を行いこれらの保存方法、住民への周知などについて検討する</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(どこで、だれを対象にするのか記入ください。) 緊急をようする史跡、石碑を整備する。 (砺波射水郡奉行所跡、水上 北菜顕章碑)</p>
	<p>手法</p>	<p>(いつ、どのように、何をするのか記入ください。) ・実行委員会の立ち上げ、実行計画の作成 ・まちなみ歴史、史跡、石碑の再調査 ・旧北陸道まちなみアート in 小杉のイベントに紹介</p>
	<p>目標</p>	<p>(目標とする結果、数値目標等について記入ください。) 整備に緊急を要するもの、そうでないものを区分し、3年位かけて整備しPRに努める。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(地域振興会が果たす役割) 専門家と有志および文化部会が中心となる。</p>	
	<p>(事業実施に伴う市の役割) ・事業に対する応分の財政負担 ・職員の参加協力</p>	

<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>1. 実行委員会設立 6月 2. 史跡、石碑、歴史建造物などの再調査 7月~9月 3. 緊急整備を要するもの 4. 会合随時、</p>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <p>旧北陸道の三ヶ地域にある史跡、石碑、建造物をPRし健康ウォーキングとして利用 三ヶ住民から「歴史のかたりべ」を発掘していきたい。</p>
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>健康ウォーキングのとして利用(三ヶ歴史のPR、伝承) まちなみアートのイベントに利用 史跡、石碑の保存(清掃も含め)</p>
<p>事業の継続 (平成25年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を <input checked="" type="radio"/> 要望する <input type="radio"/> 要望しない</p>
<p>事業の継続 (平成26年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を <input checked="" type="radio"/> 要望する <input type="radio"/> 要望しない</p>

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 黒河地域振興会

<p>事業の名称</p>	<p>はだして遊ぶ芝生広場(全面芝生)</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域コミュニティの形成</li> <li>2. 子どもや心身の育成</li> <li>3. エコ意識の向上</li> <li>4. 広場は公園としての対象にもならず、雑草対策に苦勞している。除草剤を散布しているが、保育園児童の運動場として使用しているため好ましくはないと思っている。</li> </ol>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(どこで、だれを対象にするのか記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒河コミュニティセンター広場の一部 約1,200㎡</li> <li>・ 黒河地区住民</li> </ul>
	<p>手法</p>	<p>(いつ、どのように、何をするのか記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月中旬から10月中旬ごろまで、住民参加による芝生の植付け、刈り込み、水撒き、施肥管理を行う。</li> <li>・ 広場に沿って、一部花壇のセメント塀(高さ1m程)があるので、中学生に壁画をお願いする。</li> </ul>
	<p>目標</p>	<p>(目標とする結果、数値目標等について記入ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年に提案型事業として広場の一部を芝生化した結果、子供たちが芝生の上を元気よく遊びまわっています。</li> <li>・前回の事業終了後の中でも記したように、今回は3年に渡り全面芝生化を目指す。</li> </ul>
<p>役割分担</p>	<p>(地域振興会が果たす役割)</p> <p>計画、芝付化事業の住民参加への呼びかけ、植え付けの実施、刈り込み、水撒き、草むしり、施肥等の管理</p>	
	<p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>広場の芝生化の許可、市職員の積極的参加要請、南中学校へ生徒への壁画作成要請助言</p>	

事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)	
	6月上旬	広場設計協議
	6月中旬	芝生の植付け
	7月上旬～10月下旬	水撒き、施肥、刈り込み、
	8月下旬	黒河夜高まつり(協賛)
	10月上旬	黒河地区住民運動会(協賛)
	9月下旬	植栽した区画の芝生が全面に広がる予定
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)	
1. 子どもや心身の育成 子どもが素足で思いっきり運動ができ、また大人たちも一緒に運動ができる場所を確保することで、心身ともに健全育成を図る。 2. 地域コミュニティの形成 住民参加で実施することで、地域全体の一体感の充実がより一層高まる。また、地域で子どもたちを見守る意識の向上を図る。 3. エコ意識の向上 芝生の植栽により、約3度温度が下がるとされており、エコ意識の醸成につながる。また、現在の広場は緩やかな傾斜があり、風雨により土が流出する傾向にあるため、芝生化することで流出防止につながる。		
事業展開	(協働事業終了後の事業展開)	
・今年度から3年間かけて、全面の芝生化を目指す。		
事業の継続 (平成25年度)	(当該年度における事業内容)	
継続事業として補助金を <input checked="" type="radio"/> 要望する <input type="radio"/> 要望しない 3年に渡る事業の2年目であり、あと1年で全面が芝生で埋め尽くされるという期待感が持てる。		
事業の継続 (平成26年度)	(当該年度における事業内容)	
継続事業として補助金を <input checked="" type="radio"/> 要望する <input type="radio"/> 要望しない 仕上げの年度で、早ければ8月の夜高まつりと10月の住民運動会は全面芝生の中で行いたい。		

メ モ

